

インターネット、携帯電話の『光と影』 — 家庭ができる影への対応 —

▼問合せ 学校教育グループ ☎079(435)0545

近年の情報通信技術の急速な進展は、私たちを取り巻く環境に大きな影響を及ぼし、大人だけでなく子どもたちもインターネットや携帯電話を日常的に利用するようになりました。このことは、私たちの生活や文化に革命的な進展をもたらすと同時に、一方では、有害情報が氾濫し、誹謗中傷・有害サイトなどが原因となり、子どもたちが、被害者または加害者として巻き込まれてしまうケースや事件・事故が多数起きています。

影への対応

情報化が進展する中で、未来を担う子どもたちが被害に巻き込まれず、また加害者となることがないよう安心して正しくインターネットなどを利用できる環境づくりが大切です。

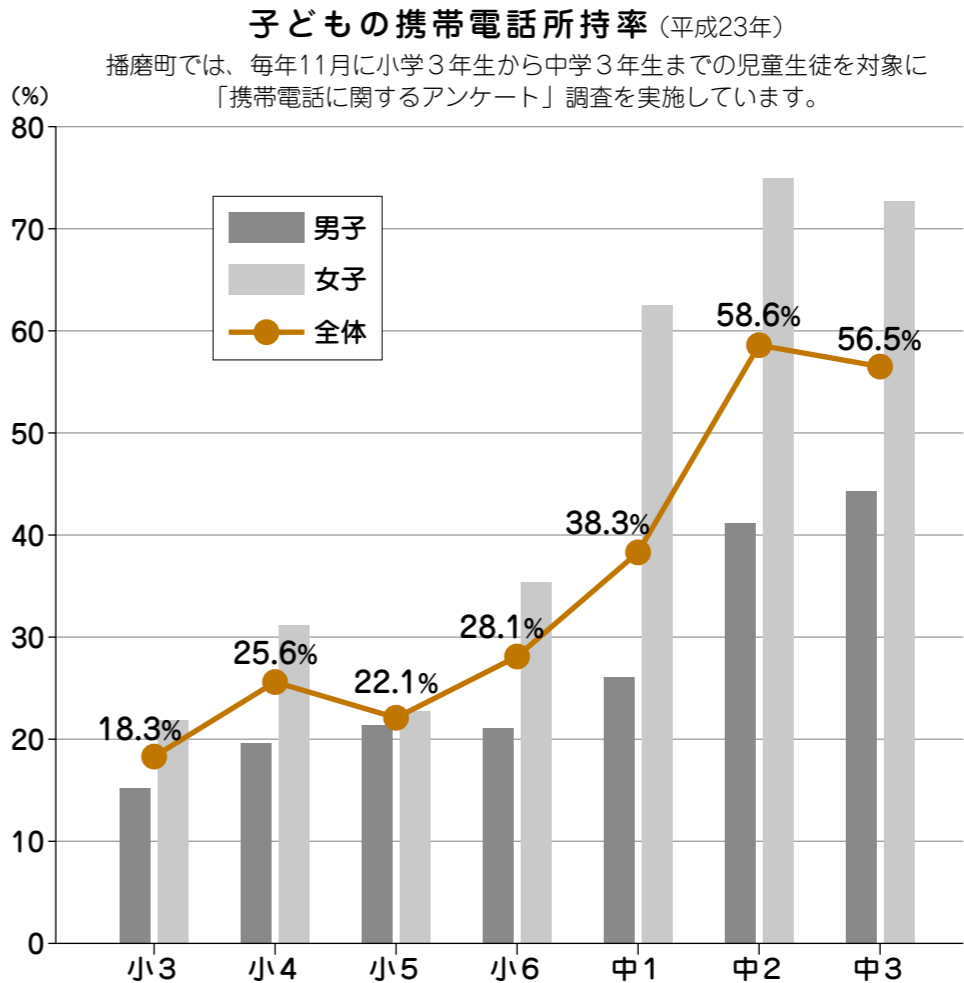
子どもを守るために親としてできることは…

①よく耳にする用語について理解しておきましょう

チャット…不特定多数の人と文字を使っていろいろな会話ができる

ブログ…日記を書くような感覚で簡単に記事を更新できるサイト。読んだ人がコメントを書き込むことができる

プロフィールの略。いくつかの質問に答える形で自分の

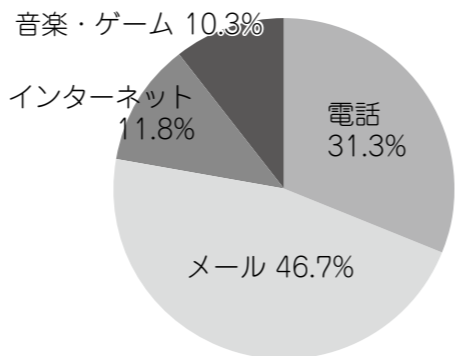


の好きなものや趣味を紹介する自己紹介サイト
掲示板：情報・意見交換、コミュニケーションなどを目的に手軽に書き込みができる

②有害サイトをシャットアウト

フィルタリングサービスは兵庫県青少年愛護条例により平成21年5月より義務付けられましたが、それまでに契約した場合は適用されていません。

中学3年生の携帯電話の主な使用目的 (平成23年)



③利用の仕方について家庭で話し合いましょう

子どもにインターネットを教えるつもりでしょう、子どもに掲示板の書き込み方を教えてもらっても逆がいいかもしれません。

そして、家族でルールをつくって安心安全に利用しましょう。

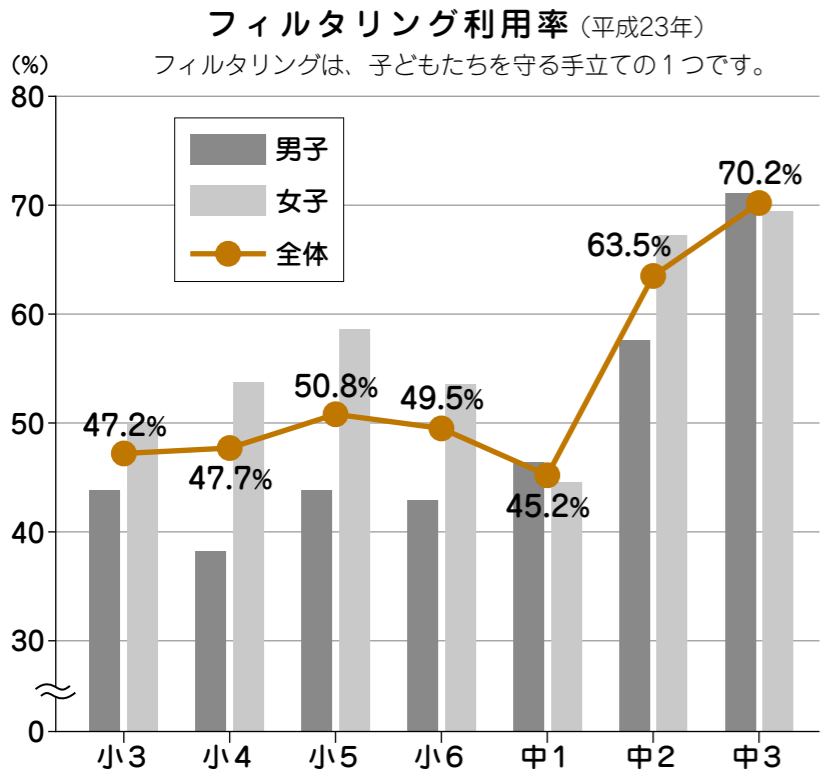
(例)

- ・知らない人からの着信やメールに対応しない
- ・掲示板やチャットに悪口や嘘など無責任な書き込みはしない
- ・自分や友達の名前、住所など絶対教えない
- ・利用時間を守る、1日〇〇分まで
- ・困ったときはすぐに相談すること

④子どもに人生の技を伝えましょう

子どもが悩んでいたら家族の出番です。まず頼れるのは、人生の先輩である家族です。

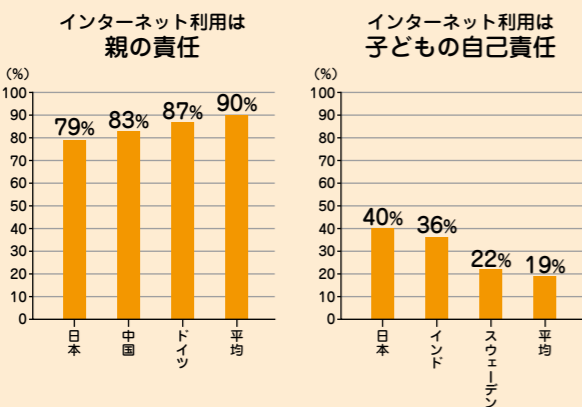
- ・コミュニケーションを図りたいときは、どうすればいいのかわかるのか
- ・言葉のもつ影響力は、どのくらいあるのか
- ・有益情報か否かを取捨選択するとき、どう判断すればいいのかわかるのか



セキュリティ関連の調査結果のよると…

インターネット利用に関して「子どもの自己責任」と回答した日本人の親40%、12カ国中最も高く、インド36%、スウェーデン22%と続きます。

「親の責任」と回答した日本人の親79%、ドイツと中国を除き他国は90%以上で、12カ国中最も低くなっているなど、考えさせられる結果となっています。



※調査対象国は、日本、イギリス、ドイツ、フランス、オーストラリア、中国、ブラジル、アメリカ、カナダ、インド、スウェーデン、イタリア

思い出いっぱいの修学旅行



▲平和学習と思い出づくりをしました

播磨南小学校 6年生

10月19、20日と修学旅行に出かけました。社会での学習をふまえ、被爆証言者の方の話と平和記念資料館見学、そして原爆ドームを目的の当たり前にして、原爆の恐ろしさや悲惨さを実感することが出来ました。

広島平和記念公園から宮島の旅館までは、グループで移動しました。初めての地での別活動では、反対行きの路面電車に乗りパニックになった班、電車の乗り換えで右往左往した班、どちらのフェリーに乗り船するのか迷った班、わくわくドキドキの連続でした。

2日目は、「みろくの里」で思いっきり遊びました。10回以上乗ったジェットコースターや急流滑り。スリル満点の乗り物に大興奮したり、友達とランチを味わったり、楽しすぎて時間を忘れるほどでした。

お天気にも恵まれ、ステキな時間を過ごした2日間となりました。

お見事！南中文化祭!!



▲響け！クラスのハーモニー

播磨南中学校

「輝け！彩れ！みんなで作る南中ハーモニー」のテーマのもと生徒会の執行部が中心となり企画、進化した文化祭が10月28日に開催されました。ステージでは、吹奏楽部の素晴らしい演奏、各クラス・先生の合唱そしてオーディションを通過したダンスやコントの自由参加で文化祭を盛り上げました。

クラス合唱は、どのクラスも審査員が困ってしまうほどのすばらしいできてしたが、見事最優秀には3年1組の「信じる」が選ばれました。多くの保護者の方や生徒から大きな歓声と拍手が続き、会場全体がひとつの連帯感に包まれた盛り上がりがありました。さらに、美術部やおおぞら学級の展示、書道や理科の自由研究など力作ぞろいの作品展示があり、南中生一人ひとりが主人公になったすばらしい文化祭となりました。

大中遺跡まつり



▲やりがいと大変さを実感しました

播磨南高等学校

播磨町で毎年行われている大中遺跡まつり。今年は雨の中での開催となりました。あいにくの天候にもかかわらず、早朝より準備をしてくださった企画委員と多くのボランティアの方々のおかげで、例年と同じく活気ある行事にすることができました。総勢90人による古代行列には私たちも参加させていただきました。とても貴重な体験をすることができました。私たち生徒会によるストラックアウトと射的にも多くの人々が足を運んでくださり、とてもやりがいがありました。この祭の実行委員として8回に及ぶ会議に参加し、一つの行事を成功させるということの大変さを感じました。そして、私自身もめったにできない貴重な体験をさせてもらったように思います。

播磨南高等学校のきゃんぱすだよりは、生徒会が執筆しています。

校内音楽会 ～東日本へ元気をとどけよう!～



▲歌にあわせて手拍子も

播磨西小学校 2年生

11月12日、校内音楽会が行われました。今年、「東日本へ元気をとどけよう!」というテーマで、全学年取り組みました。合奏曲も、1年生は3分間クッキングのテーマ曲「おもちゃのへいたい」、3年生は「負けないで」、4年生は「世界に一つだけの花」、5年生は「明日があるさ」、6年生は「新世界より」第4楽章」とそれぞれ元気を出してもらえそうな曲を選びました。

2年生の合奏は『村祭り』で、和太鼓と「わっしょい」の声でお祭り気分を盛り上げました。歌は「モーニングチャチャチャ」と「森のたんけんたい」。元気いっぱいの声で歌いました。児童音楽会では、2年生の「モーニングチャチャチャ」の手拍子に他学年からも手拍子が起こり会場が大いに盛り上がりしました。どの学年も、歌やメッセーシで東日本の復興を願い、一生懸命がんばった音楽会でした。

音楽会、心一つに



▲「気球に～乗って～♪」

播磨小学校 4年生

11月、町内の小学校では各校で音楽会が開催されました。播磨小学校でも9日に児童鑑賞会、12日に保護者鑑賞会が行われ、4年生は二部合唱「気球に乗ってどこまでも」、リコーダー奏「八木節」、合奏「風になりたい」の3曲に挑戦しました。

校内最多の児童数を誇るこの学年が心一つに合わせたパワフルな歌と演奏は、多くの人たちの感動を誘いました。それは、練習で高い集中力を保ち、失敗を繰り返しながらも完成まであきらめずに一人ひとりが努力することによって得られた成果でしょう。次年度もすばらしいものになりたいという前向きな気持ちで会を終えることができました。

音楽会後の子どもたちの笑顔が最高のフィナーレでした!!

お弁当大好き!



▲おいしいね!

播磨西幼稚園

子どもたちがお弁当を食べている様子を見てもうお弁当参観がありました。子どもたちは朝から「早くお弁当の時間にならないかなあ」とお家の人が見に来てくれるのを楽しみにしていました。お弁当を食べる前には、人さし指と中指を強くしてお箸が正しく使えるように、歌に合わせて指の体操をします。「いただきます!」とお家の人の愛情がたぐさん詰まったお弁当を開けると、「今日のごはんはくまさんだ!」「おいしい」と友達と楽しそうに食べています。子どもたちのうれしそうなお顔を見てお母さんたちも嬉しそうです。お弁当を食べてお母さんたちも嬉しそうです。お弁当を食べてお母さんたちも嬉しそうです。お弁当を食べてお母さんたちも嬉しそうです。

